

ヨコトリーツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!
THE SECOND SEASON Vol.08
[通巻20号]

Dec.
2017

2020へ向け出航!
の前に…
ヨコトリーツ2017
ふりかえり



ハマトリーツ! アンケート結果発表
自主活動各グループふりかえり



「ヨコトリーツ!(Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「ハマトリーツ!」による手作りのフリーペーパーです。「トリーツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものをお伝えしたい! ということで名付けました。ハロウィンの決まり文句「Trick or Treat!」(「トリックオアトリート!」=お菓子をくれなきゃイタズラをすぞ!)から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指します。

ヨコトリーツ!

料理部presents Let's ヨコハマ Cooking!
#4 焼き芋と梨の横浜味タルト

料理部のレシピ連載もこれが最後。トリを飾るのは、意外と横浜での生産量が多い「さつまいも」と「梨」を使ったスイーツです。タルト生地を作る代わりに冷凍パイシートを使えばより簡単に。梨のコンポートにミントを加えると色も味も爽やかに。



材料 (直径18cmのタルト型分)

-タルト台-	
無塩バター	50g
粉糖	40g
塩	少々
溶き卵	大きじ2
薄力粉	125g
-焼き芋クリーム-	
A: バター	100g
粉糖	100g
溶き卵(全卵)	100g
アーモンドパウダー	100g
B: 焼き芋	正味200g
牛乳	大きじ1
-梨のコンポート-	
梨	1個
砂糖	40g
白ワイン	大きじ2
水	1カップ
レモン汁	小さじ1

手順

- (コンポート) 梨の皮をむいて4等分に切ったら芯を取り、できるだけ薄く(16~24等分に)切る。鍋に砂糖、白ワイン、水を入れて強火にかけ、煮立ったら梨を加えて3分ほど煮て中火にし、アクをすくいながらさらに5分ほど煮て火を止め、そのまま置く。粗熱が取れたらレモン汁を加える。
- (タルト生地) ボウルにバター(室温)、粉糖、塩を入れて泡だて器などですり混ぜる。溶き卵を少しずつ加えて混ぜ合わせ、薄力粉をふるい入れて、ヘラで混ぜまとめたらラップに包んで、冷蔵庫で1時間寝かせる。
- (焼き芋クリーム) A.ボウルにバター・粉糖・全卵・アーモンドパウダーの順に入れていって、すり混ぜておく。B.皮をむいて軽くほぐした焼き芋に牛乳を加え、芋の食感を残す程度につぶす。AとBを混ぜ合わせて冷蔵庫で30分寝かせる。
- タルト生地をめん棒で3mm厚にのばしてタルト型に敷き、焼き芋クリームを入れて表面を平らにならす。
- 180°Cに予熱したオーブンで40~50分焼く。
- 焼きあがったタルトの表面に梨のコンポートを飾って出来上がり。

REPORT

THE SECOND SEASON Vol.08

ヨコトリーツ2017 Last 3 Days 静かな高揚感

ヨコハマラウンド

11月3日に行われたヨコハマラウンド、ラウンド8のテーマは、<より美しい星座を描くために：アートの可能性とは?>。ほとんどの構想会議メンバーが集まり、今回の総括の場になりました。お題を出して順に答えていく形で進みますが、発言に対する反応も随時入り、予定調和でない面白さがありました。展覧会のカタログを読んで「そういう意味のテーマだったんですね」と発言する鷲田清一氏に対して「それを我々が議論していたんだから」とツッコミを入れる司会進行の高階秀爾氏。やりとりがお茶目です。スプツニ子! 氏の「イギリスのEU離脱、トランプ大統領就任は、我々が『孤立と接続』を議論している中で起こったこと。パラレルに世の中が動いているのを感じた」という発言にもはっとさせられました。その後も、美とは何か、AIとアート、アーティストの役割、今後の国際展への期待など、興味深い話題が続きました。



2020年の私



逢坂館長挨拶



最後の集合写真

2017年11月5日、ヨコハマトリエンナーレ2017は3ヶ月の会期を終えた。前回展の時のような大きなファイナルイベントはなかったものの、11月3日からの3連休には、ヨコハマラウンドの最終回があり、ハマトリーツ! によるイベントが集中的に行われた。最後まで楽しもうとする雰囲気を感じられた会場の様子をレポートする。(青木/上田/横川)



公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」
ラウンド8<より美しい星座を描くために：アートの可能性とは?>より
撮影：加藤健

ハマトリーツ! によるイベント

おなじみ缶バッジ作り、折り紙、星占いのほか、これまで予約団体向けだった事前ガイダンスを「みどころ紹介」として随時行いました。また、3日には「ヨコトリしゅみせん!」企画として、新庁舎予定地までたどるフィールドワークがありました。

新しい企画として「2020年の私」があります。皆さんに3年後の自分を思い描き、壁に貼った星座を彩っていただきました。

閉館後は

最終日は最後のお客様が帰られたらすぐに撤収作業に入る予定でしたが、逢坂館長から「やっぱり何か挨拶を」ということで、振り返りや皆さんへの労いの言葉がありました。そして三本締め。終わっても解散せずこの場に居たい気持ちもありましたが、そういう訳にもいきません。我々ハマトリーツ! の面々は、ビジターサービスセンターの解体片付けに一斉に取り組んだのでした。

その後の打ち上げは、急遽前日に企画されたものでしたが、総勢43名が集まりました。逢坂館長から乾杯のご発声をいただき、大いに盛り上がりました。その後館長は皆と同じ席につかれ、対面に座らせていただいた記者はトリエンナーレの裏話などを伺う幸運に恵まれました。当日誕生日を迎えたメンバーへのサプライズお祝いなど、あっという間に過ぎた2時間でした。

2月 ハマトリーツ! シンポジウム(仮) 開催決定!!

オリンピックだけじゃない! 2020年に開催予定となる次回の横浜トリエンナーレに向けて、アートと都市、ハマトリーツ! のこれからについて考えるシンポジウムを開催します。詳細・申込はハマトリーツ! 公式ウェブサイトにて後日お知らせします。 www.yokotorisup.com



ヨコハマトリエンナーレ2017 島と星座とガラパゴス 公式カタログ販売中!

ヨコハマトリエンナーレ2017の公式カタログは、個々のアーティストの創作世界に親しみつつ、関係性について考えることができるようデザインされています。また、ディレクターズのエッセイをはじめ、アーティストや構想会議メンバーのメッセージ、各プログラムも網羅し、ヨコハマトリエンナーレ2017の世界をそのまま一冊にまとめた総集編です!

横浜美術館ミュージアムショップのほか、Amazon、他全国書店・インターネットで発売中!

公式カタログ概要
価格: 2,376円(2,200円+税込) 総頁: 160頁
サイズ: B5変型 190×257×16mm 発行所: 株式会社青幻舎

横浜トリエンナーレサポーターHama-Treats!'s フリーペーパー「ヨコトリーツ!」THE SECOND SEASON Vol.08 [通巻20号]

●企画・編集: 横浜トリエンナーレサポーターハマトリーツ! 情報発信G(青木邦彦/上田良寛/木村彰一/巽知代/平本晶子/横川裕隆) ●カバーアート: 神田美樹 ●発行日: 2017年12月16日 ●発行元・お問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局(横浜市西区みなとみらい3丁目4-1 横浜美術館 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内 TEL: 045-228-7816 MAIL: info@yokotorisup.com) ●ハマトリーツ! (横浜トリエンナーレサポーター) 公式WEBサイト: <http://www.yokotorisup.com>

次号予告 ハマトリーツ! の今後を考える

2018年2月
発行予定

アンケート結果発表 ハマトリーツ!の実像を探る

サポーター活動の実情を把握し「サポーター像」を明らかにして、今後の活動につなげるため、ハマトリーツ!のみなさんにアンケートを実施しました。8月下旬からサポーター向けのメールニュースで案内すると同時に、サポーター控え室に回答用紙を設置し回収を進めました。回答は、紙、Webフォームのいずれかでできるようにしました。

結果、回答数は96となりました。アンケートの設問は、なるべくヨコトリーツ!旧4号(2014年4月発行)で行ったものと合わせ、前回との比較ができるようにしました。また前は会期前のアンケート実施でしたが、今回は会期中に行い、また横浜美術館での活動に参加した人に重点的に声をかけたため、そのことがアンケート結果に反映されています。

サポーターの横顔

図1に年齢と性別を示します。2014年の調査時と同様、女性が多く比率は6割を超えています。また、前は全体の約1/3であった50代以上の方がほぼ半数を占めており、2014年と比較し、サポーターとして活動された方の年齢層は若干、高めにシフトしているようです。

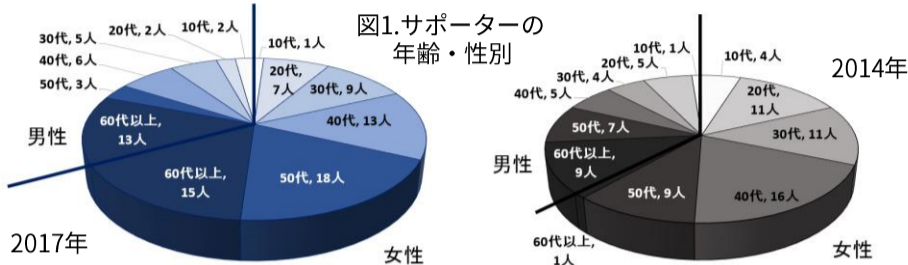
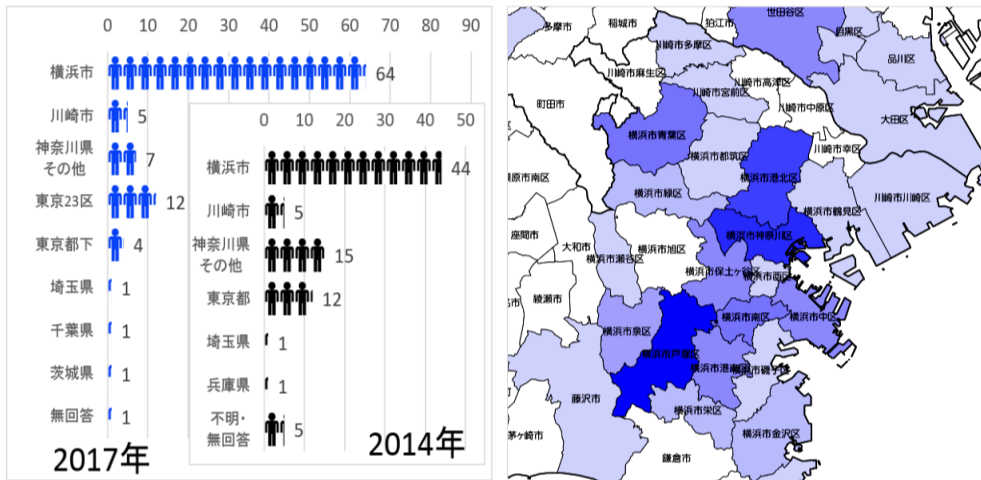


図2は居住地。横浜市在住の方が多く傾向は前回以上に強く、神奈川県全域では80%以上を占めています。回答者に横浜美術館に来た人が多いことが反映されていると言えます。区レベルでの分布(図3)を合わせて示します。



観る・学ぶ

「ヨコトリで作品を観る+αの体験をお届けしたい」という想いで1年半の活動をしてきた本グループ。5つの活動を企画し、会期前から準備を進めてきました。会期中は「感想ノート」「ヨコトリ検定」に計300名以上がご回答、「おしゃべり会」「ヨコトリナビゲーター」は計400名以上にご参加いただきました。「みどころmap」は1,000部の配布が完了し増刷してお届けしました。これらが少しでもお客様の思い出づくりのお役に立てていたら嬉しいです。私たちにとっても、お客様との交流や新たな発見など多い活動でした。ご参加されたお客様、ご協力いただいたハマトリーツ!及び事務局の皆さま、ありがとうございました。(高砂)

アート・アクセシビリティ

今回展に向けては、『障がいのある方に向けたちらしの作成』、『車いすやベーカーの方のための最寄り駅から各会場までのアクセスガイドの制作』、『子どもアドベンチャーでの幾何学アートワークショップと紋切ワークショップ』、『手さぐりワークショップ(旧真つ暗闇体験)』の4つの活動をおこないました。大変なこともありましたが、グループメンバーの柔軟性、専門性、積極性、気遣いなどがいろいろな場面で発揮され、ヨコハマトリエンナーレ2017のお客様へより良いものを届けるべく、みんなで取り組めたのは素晴らしいことだったと思います。また、グループ外の方々にも各活動でご協力くださり、とても感謝しています。(脇川)

自主活動各グループふりかえり

これまで各グループ活動報告を載せていましたが、今回ヨコトリ2017会期が終わったところで、これまでの活動のふりかえりを願いました。

活動支援

「古代インドの宇宙観を表す『世界亀』」から着想を得たというイメージビジュアル。このことから、「ヨコトリを支えるもの」をテーマに、舞台上で尽力している方々にお話をうかがうサロン「ヨコトリしゅみせん!~世界は〇〇でできている~」が生まれました。手前味噌ながら、これは目の付けところがユニークだったと思いますが…いかがでしたでしょうか。タイトルは、この宇宙観で世界を支えている蛇・亀・象から成る「須弥山」からきています。チームメンバー以外にも横浜トリエンナーレ組織委員会をはじめとする様々な組織と連携し、会期中に7本ものサロンを実施。ボランティアの醍醐味、チームワークも実感できました!(のり/ぴん)

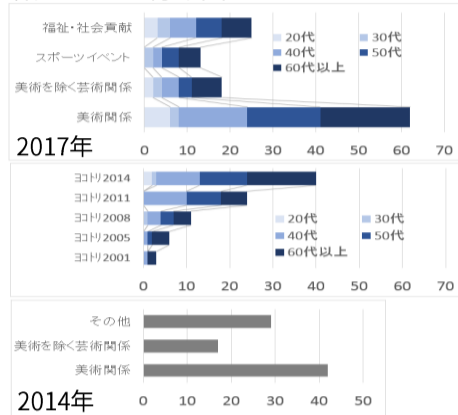
遠足

札幌国際芸術祭2017へ遠足に行った振り返りとして、ZINEという形式の小冊子にまとめようとしています。みんなが撮った写真の中から掲載するものを選び、作品や交流会の感想も集まり、順調に進行中…とあって、予想外の事態が!この号が出る頃には形になっているといいなあ。引き続きマイペースにがんばりまーす。(木村)

ボランティア活動の経験

図4はこれまで経験したボランティアの種類です。美術関係としてご回答いただいた中の横浜トリエンナーレのサポーター経験と併せ、グラフに示します。

前回の「その他」から、スポーツと福祉・社会貢献を独立させました。今回は「その他」として13件の回答があり、中には、Y150、博物館、英語ガイド、青年団などがありました。



活動の種類

図5に参加している活動の種類を示します。前回のアンケートは会期前だったので「こんな活動に参加したい」でしたが、今回は実際に行った活動内容になります。アーティスト支援が大幅に減っているのはそのためです。

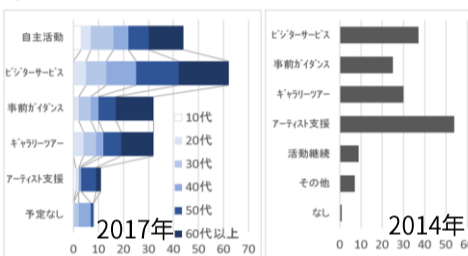


図5.参加中の活動(2014年は参加したい活動)

自由意見の分析は次号で!

このほか自由意見も多くいただきました。満足度、次回参加予定の理由と合わせて分析し、次回展の活動、次回展までのはざま期間の活動の改善に繋がりたいと思います。分析結果およびそれに基づく提言は次号で紹介します。

みんな満足してる?

満足度を図6に示します。今回は、ほぼ全体がアクティブに参加している人になりますので、母集団は前回のチーム所属の方のグラフに近いと言えます。満足理由として「充実している」という声がある一方で、やや不満足の方から「一部参加者への負担の集中」という意見がありました。自由意見は今後さらに分類・分析します。

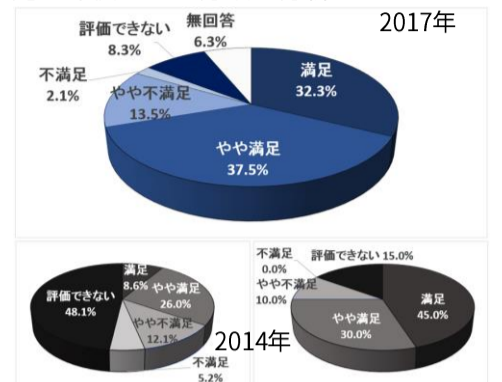


図6.活動の満足度

2020年も参加したい?

次回参加予定を聞いた結果を図7に示します。「はい(参加したい)」という方が多い一方で「わからない」も多くありました。「はい」と答えた方の多くは満足度の高い方で、逆に満足度が低い方の多くは「わからない」と答えていることが見て取れます。

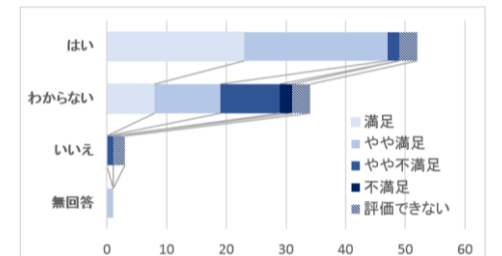


図7.2020年も参加したい?

時をかけるヨコハマ

横浜トリエンナーレは現代美術に親しく接して頂く機会、同時にもっと横浜に親しんで頂く機会と私たちは捉えました。そこで山手・関内周辺を対象に6種類の四次元的路上観察案内書を制作、会期後半になって配布を開始しました。ところで四次元的って何か、例えばかつて存在した建物や画家の写生場所など、今は見ることのできないものまで見ようとする意識のことです。案内書はA3用紙両面印刷、配布予定は計3000部でしたが、最後は約5000部に届きました。手にして頂いたお客様にお礼申し上げます。反省すべきは、夏休みに来場頂いた中学・高校生の皆様への配布が間に合わなかったことです。深くお詫び致します。(深野)

情報発信

刷るも刷ったり、折るも折ったり、7月29日発行の開幕直前号も併せると、3ヵ月間で3度フリーペーパーを発行し、総印刷部数は21,000部を超えました(過去分の増刷含む)。毎号、各グループや多くのサポーターの皆さんにイラストの提供や寄稿をいただき、ここまで来ることができました。情報発信Gメンバーもアーティストインタビューを敢行し、自ら作品製作支援にも携わり、各種ワークショップや講演、遠足などに積極的に参加し、取材に飛び回った3ヵ月間でした。会期終了後も息つく間もなく今号を企画・発行させていただきます。今後も横浜のどこかでヨコトリーツ!を見かけたら、是非お手にとってご覧ください。(青木)

